



御回答ありがとうございます。
ございました。

令和 8 年 9 月 29 日
総合企画部統計課
043-223-2221

令和 7 年国勢調査 人口等基本集計結果（千葉県分）について

令和 7 年 10 月 1 日現在で実施した「令和 7 年国勢調査」（22 回目）の確報（人口等基本集計）が総務省統計局から公表されました。

この結果について、千葉県分の概要を取りまとめましたのでお知らせします。

- ・人口は 625 万 7,225 人（全国 6 位）で、前回（令和 2 年）から 27,255 人減少

第 1 回調査（大正 9 年）以降初めての減少

- ・世帯数は 288 万 8,950 世帯で、前回から 11 万 5,110 世帯増加

第 1 回調査から継続して増加

- ・県内 12 市で人口増

増加人数最多は千葉市（19,895 人）、増加率最大は流山市（7.6%）

- ・外国人人口は 240,425 人（全国 6 位）で、前回から 78,078 人増加、国籍別では中国が最多（64,775 人）

第 1 回調査以来過去最高

- ・年齢区分別の人口割合は 15 歳未満が 10.7%、15 歳以上 65 歳未満人口が 61.2%、65 歳以上が 28.2%で、前回からそれぞれ 1.1 ポイント減少、0.4 ポイント増加、0.6 ポイント増加

15 歳以上 65 歳未満の生産年齢人口割合の増加は平成 7 年調査以来

【千葉県ホームページ】令和 7 年国勢調査結果（人口等基本集計結果）

<https://www.pref.chiba.lg.jp/toukei/press/2026/0929kakuhou.html>

※人口等基本集計は、全ての調査票を用いて市区町村別の人口、世帯、住居に関する結果及び外国人、高齢者世帯等に関する結果について集計した確定値です。

令和 8 年 5 月に公表した速報は、市町村から提出された要計表（人口や世帯数を取りまとめた一覧表）を集計したものであり、精査後の調査票を集計したものである今回の結果（確定値）とは異なります。

なお、今後も、移動人口や就業状態などに関する集計結果が総務省統計局から公表される予定です。

【総務省統計局による今後の集計結果公表予定】

令和 8 年 12 月 移動人口の男女・年齢等集計

令和 9 年 3 月 就業状態等基本集計

令和 9 年 5 月 従業地・通学地による人口・就業状態等集計

令和 9 年 6 月 移動人口の就業状態等集計

※このほか、抽出詳細集計や小地域集計が順次公表予定

https://www.stat.go.jp/data/kouhyou/e-stat_kokusei2025.xml（統計局 HP）

令和7年国勢調査 人口等基本集計 結果の要約（千葉県）

1 千葉県の人口

- ・ 令和7年10月1日における本県の人口は625万7,225人（全国6位）で、前回の令和2年調査（同6位）に比べ27,255人減少しました。
- ・ 本県の人口は、大正9年の第1回調査から増加が続いていましたが、前回調査実施年である令和2年をピークとして、今回調査で初めて減少しました。
- ・ 令和8年5月に公表した速報値と比較すると、本県の人口は1,287人減少（国内総人口は76,996人減少）しましたが、これは調査票の精査によるものであり、都道府県別の人口や人口増減率の順位は速報値から変動ありません。

2 市町村別の人口

- ・ 県内市町村別の人口増減をみると、前回の令和2年調査に比べ増加したのは県北西部の12市（速報からの変動なし）であり、最も増加人数が多かったのは千葉市の19,895人、最も増加率が高かったのは流山市の7.6%でした。
- ・ なお、県外市町村も含めた比較において、千葉市と流山市（15,237人の増）は人口増加数が全国7位と8位であり、人口増減率においては、流山市と印西市（7.5%増）は全国9位と10位でした。
- ・ 一方で、前回調査に比べ減少したのは25市17町村（速報からの変動なし）で、最も減少人数が多かったのは市原市の9,627人、最も減少率が高かったのは芝山町の13.7%でした。

3 男女別人口

- ・ 県内の男女別人口をみると男性が3,094,868人、女性が3,162,357人で、前回の令和2年調査に比べ、男性が23,119人減少、女性が4,136人減少しました。
- ・ 男性と女性の人口を比較すると、女性が67,489人多く、人口性比（女性100人に対する男性の数）は97.9で、前回調査に比べ0.6ポイント下落しました。

4 年齢別人口

- ・ 県内の年齢別人口構成をみると、15歳未満人口は667,457人（県人口の10.7%）、15歳以上65歳未満人口は3,827,568人（同61.2%）、65歳以上人口は1,762,045人（同28.2%）で、前回の令和2年調査に比べ、それぞれ、1.1ポイント減少、0.4ポイント増加、0.6ポイント増加しました。
- ・ 15歳以上65歳未満人口の割合が増加したのは、平成7年（1995年）調査以来30年ぶりです。
- ・ 国内総人口における年齢別人口構成割合をみると、15歳未満人口は総人口の10.9%、15歳以上65歳未満人口は同59.8%、65歳以上人口は同29.4%であり、本県は全国平均と比較し、15歳未満で0.2ポイント低く、15歳以上65歳未満で1.4ポイント高く、65歳以上で1.2ポイント低くなっています。

※国が作成・公表した不詳補完値（集計結果「不詳」をあん分等によって補完した値）を使用しています。
補完処理後の年齢「不詳」があるため、各年齢区分の合計は県人口総数と一致しません。
また、年齢別人口構成割合は、年齢「不詳」を除いて算出しています。

5 日本人・外国人別人口

- ・千葉県の人口のうち日本人人口は6, 016, 773人（全国5位）、外国人人口は240, 425人（全国6位）で、前回の令和2年調査に比べ、それぞれ105, 346人減少（1. 7%減）、78, 078人増加（48. 1%増）しました。
- ・外国人人口は、調査開始以来過去最高となりました。
- ・県内人口に占める外国人の割合は3. 8%（全国5位、全国平均3. 1%）で、前回調査に比べ1. 2ポイント増加しました。
- ・外国人人口が最も多かった市町村は千葉市の42, 914人、市町村人口に占める割合が最も高かったのは富里市の8. 9%でした。
- ・国籍別にみると、もっとも多かったのは中国の64, 775人、次いでベトナムの36, 630人、ネパールの23, 355人で、この3か国で県内外国人人口の51. 9%を占めています。

※国が作成・公表した不詳補完値を使用しています。

増減数及び増加率は、令和7年確報と同一の補完方法により国が遡及集計した令和2年の数値を用いて算出しているため、令和2年調査結果確報の数値からの増減数及び増加率とは一致しない場合があります。

補完処理後の日本人・外国人の別「不詳」があるため、日本人・外国人の合計は県人口総数と一致しません。

6 世帯の状況

- ・本県の世帯数は288万8, 950世帯で、前回の令和2年調査に比べ11万5, 110世帯増加しており、第1回調査から増加が続いています。
- ・世帯の種類別にみると、一般世帯は2, 881, 044世帯、施設等の世帯数は7, 906世帯で、前回の令和2年調査に比べ、それぞれ113, 383世帯増加（4. 1%増）1, 727世帯増加（27. 9%増）しました。
- ・また、一般世帯の1世帯当たり人員は2. 12人で、前回調査に比べ0. 10人減少しており、昭和20年をピークに減少傾向が続いています。
- ・一般世帯の家族類型をみると、単独世帯は1, 132, 305世帯（一般世帯の39. 7%）、核家族世帯は1, 581, 871世帯（同55. 5%）で、前回調査に比べ、それぞれ128, 865世帯増加（12. 8%増）、5, 168世帯増加（0. 3%増）しており、一般世帯全体に占める割合は、それぞれ、前回調査に比べ3. 4ポイント増加、1. 4ポイント減少しました。

※国が作成・公表した不詳補完値を使用しています。

増減数及び増加率は、令和7年確報と同一の補完方法により国が遡及集計した令和2年の数値を用いて算出しているため、令和2年調査結果確報の数値からの増減数及び増加率とは一致しない場合があります。

また、一般世帯の家族類型別の割合は、「不詳」を除いて算出しています。

7 65歳以上世帯員のいる世帯数

- ・65歳以上の世帯員のいる一般世帯は1, 146, 507世帯（一般世帯の39. 8%）で、前回の令和2年調査に比べ30, 985世帯増加（2. 8%増）しました。
- ・家族類型をみると、単独世帯は373, 199世帯（65歳以上の世帯員のいる一般世帯の32. 6%）、夫婦のみの世帯は359, 012世帯（同31. 3%）で、前回調査に比べ、それぞれ50, 370世帯増加（15. 6%増）、6, 802世帯増加（1. 9%増）しており、65歳以上の世帯員のいる一般世帯全体に占める割合は、それぞれ、前回調査に比べ3. 6ポイント増加、0. 3ポイント減少しました。

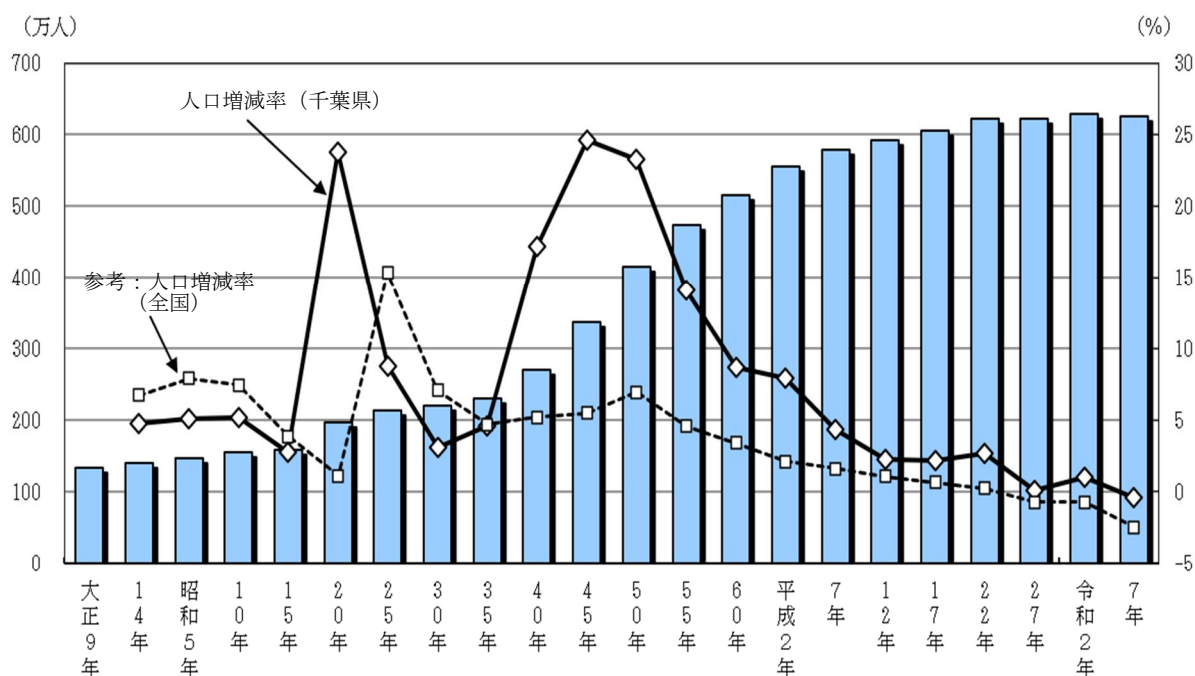
【参考】

千葉県の人口及び世帯数の推移（国勢調査結果）

年次	人口（人）	世帯数（世帯）	世帯人員（人）	年次	人口（人）	世帯数（世帯）	世帯人員（人）	年次	人口（人）	世帯数（世帯）	世帯人員（人）
大正 9 年	1,336,155	259,026	5.16	昭和 35 年	2,306,010	483,634	4.77	平成 12 年	5,926,285	2,173,312	2.73
大正 14 年	1,399,257	270,796	5.17	昭和 40 年	2,701,770	637,164	4.24	平成 17 年	6,056,462	2,325,232	2.60
昭和 5 年	1,470,121	279,746	5.26	昭和 45 年	3,366,624	873,929	3.85	平成 22 年	6,216,289	2,515,904	2.47
昭和 10 年	1,546,394	292,254	5.29	昭和 50 年	4,149,147	1,152,380	3.60	平成 27 年	6,222,666	2,609,132	2.38
昭和 15 年	1,588,425	302,116	5.26	昭和 55 年	4,735,424	1,418,917	3.34	令和 2 年	6,284,480	2,773,840	2.27
昭和 20 年	1,966,862	369,982	5.32	昭和 60 年	5,148,163	1,572,575	3.27	令和 7 年	6,257,225	2,888,950	2.17
昭和 25 年	2,139,037	407,609	5.25	平成 2 年	5,555,429	1,813,903	3.06				
昭和 30 年	2,205,060	423,617	5.21	平成 7 年	5,797,782	2,015,296	2.88				

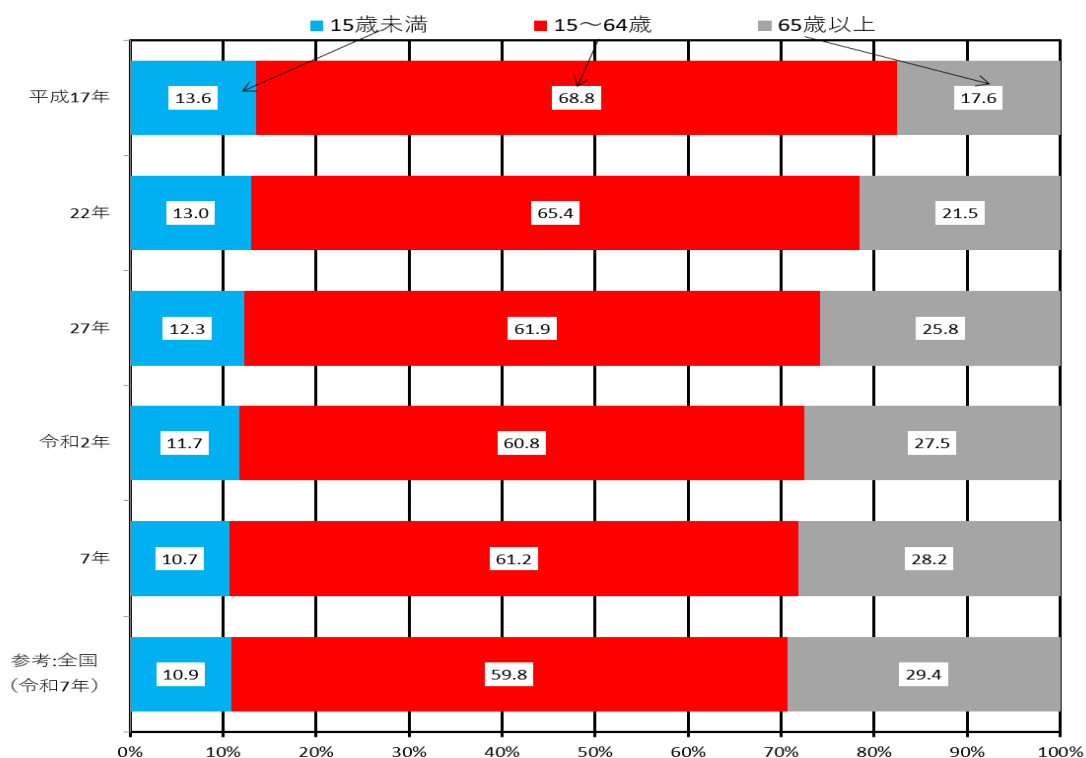
注）数値は各回国勢調査の確定値(10月1日現在)である。
ただし、昭和20年は資源調査法による人口調査の結果(11月1日現在)である。

図1 人口及び人口増減率の推移—千葉県（大正9年～令和7年）



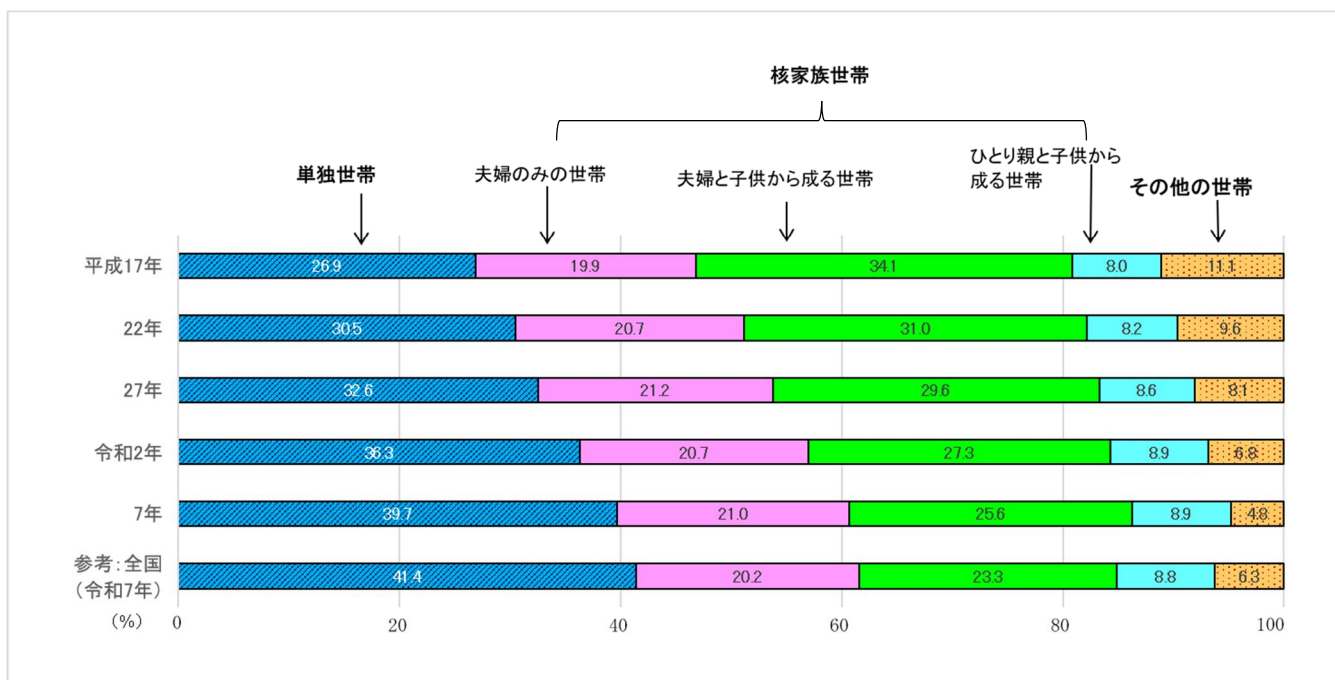
（注）昭和20年は人口調査結果による。
昭和20年及び25年の人口増減率（全国）は沖縄県を除いて算出。

図2 年齢3区分別人口割合の推移—千葉県（平成17年～令和7年）



(注) 割合の数値は単位未満で四捨五入しているため、合計が100に一致しない場合があります。
平成27年以降の数値は、国が作成した不詳補完値を使用しています。

図3 一般世帯の家族類型別割合の推移—千葉県（平成17年～令和7年）



(注) 割合の数値は単位未満で四捨五入しているため、合計が100に一致しない場合があります。
平成27年以降の数値は、国が作成した不詳補完値を使用しています。

市町村の状況

人口増減数の大きい市町村

増加数の大きい市町村				減少数の大きい市町村			
順位	市町村名	増加数 (人)	増加率 (%)	順位	市町村名	減少数 (人)	減少率 (%)
1	千葉市	19,895	2.0	1	市原市	△9,627	△3.6
2	流山市	15,237	7.6	2	銚子市	△7,053	△12.1
3	柏市	8,834	2.1	3	香取市	△6,385	△8.8
4	船橋市	8,756	1.4	4	佐倉市	△4,978	△3.0
5	印西市	7,730	7.5	5	君津市	△4,839	△5.9

(参考) 千葉市中央区 15,171 人増加

人口増減率の高い市町村

増加率の高い市町村				減少率の高い市町村			
順位	市町村名	増加数 (人)	増加率 (%)	順位	市町村名	減少数 (人)	減少率 (%)
1	流山市	15,237	7.6	1	芝山町	△965	△13.7
2	印西市	7,730	7.5	2	大多喜町	△1,101	△12.4
3	八千代市	5,406	2.7	3	銚子市	△7,053	△12.1
4	柏市	8,834	2.1	4	九十九里町	△1,762	△12.0
5	千葉市	19,895	2.0	5	鋸南町	△796	△11.4

令和 7 年国勢調査・市町村別人口増減率（対令和 2 年）

